

# 岩瀬農業高等学校学生との座談会

## 主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した学生を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、学生との座談会を開催いたしました。

岩瀬農業高等学校学生との座談会においては、座学として建設業の役割や地元建設企業の若手技術者の仕事内容（ICT 工事の流れなど）を学び、座談会として学生が抱える建設業への不安や疑問の解消、若手技術者が今感じている仕事のやりがいや魅力などについて、意見交換を行いました。

- <日 時> 令和6年2月22日(木) 12:50~14:25  
<場 所> 岩瀬農業高等学校 力農会館(岩瀬郡鏡石町桜町207)  
<対象学年> 環境工学科 2年生 25名  
<コーディネーター> 薄 勇樹教諭、佐久間 秀夫教諭、渡部 武彦教諭、渡部 耕司教諭  
福島県土木部建設産業室1名、(一社)福島県建設業協会3名  
<参加企業> 地元建設企業3社 (株)横山建設2名、(株)橋本組1名、松本建設工業(株)2名

### 座学1「建設業の役割など」

講 師：福島県土木部建設産業室 主査 佐藤 有美子 氏



#### <建設業の役割等について説明>



### 座学2「建設業への就職に向けて」

- ①河川工事の概要について…(株)横山建設 土木部 工事係 菊地 龍弥さん  
②道路工事の概要について…松本建設工業(株) 土木部 工事係 早坂 秀斗さん  
③ICT工事の概要について…(株)橋本組 工務部 工事課 菊池 誠貴さん



**1. 自己紹介**

株式会社 横山建設

土木部 菊地 龍弥

- 岩瀬農業高校 環境工学科出身
- 入社 7年目 24歳
- 2級建設機械施工管理技士

**2. 建設業を目指した理由**

重機に興味があり  
建設業に就きたかった為。

将来に造った物が残ることに  
魅力を感じた為。

**3. 私の仕事(1~7年目)**

重機オペレーター	測量	丁張り掛け
写真管理	市道・県道の除雪	



1.自己紹介

**松本建設工業株式会社**

土木部 **早坂 秀斗**

- 岩手県農業高校 環境工学科出身
- 入社5年目 23歳
- 1級土木施工管理技士補



5.学生の皆さんに伝えたいこと

「当たり前」に過ごせるのは幸せなこと  
そんな「当たり前」を造れる仕事が  
**建設業**です



1.自己紹介

**株式会社 橋本組**

工務部工事課 **菊池 誠貴**

- 岩手県農業高校 環境工学科出身
- 入社3年目 21歳
- 2級土木施工管理技士補 その他資格各種

2.建設業を目指した理由

1から建造物が出来上がる事に  
魅力を感じた為。

(数ある建設業の中で自分が橋本組を選んだ理由)  
自分の母校である、  
須賀川市立第一小学校の建設工事を  
行っていた為。

5.学生の皆さんに伝えたいこと

- 建設業は、人が生活する住宅や、インフラの設備を整備したりする仕事なので、社会貢献性が高く、社会に与えるインパクトが大きい仕事です。
- 今皆さんが取り組んでいる測量や土木、資格などを最大限に活かせる仕事でもあります。

建設業に入って良かったこと

- 企業への社会貢献が出来る事への喜び。
- 物を作る楽しさ、完成した後の達成感を感じる事が出来ること。
- 人々の役に立っていると実感出来ること。

## 座談会

4班に分かれて、事前に行ったアンケート結果を基に、学生が建設業に対しての疑問や考えを聞きました。主な質問は以下のとおりです。

**Q1 高校2年生の時はどのように過ごしていたのか。**

**A1** 就職のことは余り考えずに学校生活を楽しんでいたが、インターンシップに行ったのと合同就職説明会への参加により今の会社に決めたので、少しは頭の片隅に就職を意識していた。

**Q2 女性の働きやすい環境ですか。**

**A2** 男性に比べると女性が少ないため、女性に対して男性はみんな優しい。現場では重い荷物を持たせないし、育児休暇もあり子育てがしやすい環境になってきている。最近では、女性の技術者や重機オペレーターなどが増え、活躍の場が広がっている。

**Q3 初年度の給与について**

**A3** 最初の3カ月は研修期間なので、4カ月目以降から少しずつ上がる。最初の給料が安いからといって辞めてしまうと、どこの会社に行っても続かない。

### <座談会の様子>



### <代表生徒の感想>

インターネットには載っていない建設業の仕事内容などについて聴くことができた。この座談会で聴いたこと、意見交換をしたことを今後の進路選択につなげたい。

### <正木学科長講評>

土木の魅力は形に残せること。建設業の魅力とは何か自分自身に問いかけて学んでほしい。土木の知識や技術を地域に還元できるような土木技術者を一人でも多く送り出したい。進路選択において悩むこともあると思うが本日講師を務めていただいた先輩方の話を参考に進路選択をしてほしい。

